

# 令和3年度 予算重点施策

いつも新しい流れがある 市川



令和2年10月

市川市長

## 基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染拡大は、我々の生活を一変させました。人々が集まり触れ合うことが抑制されることで、これまで当たり前として過ごしていた日常は大きな変化を強いられ、あらゆる人が心身ともに疲弊しています。

このような状況の中、暮らしや仕事を続けるため、情報通信技術を活用したテレワークやオンライン会議などが定着し始めました。

しかし、これら新たな行動様式は、本市が従来から描き続けている未来へと続く通過点でしかありません。新型コロナウイルスを過剰に恐れるのではなく、「適正に恐れる」ことで、引き続き必要な施策に取り組むとともに、価値転換による社会システム変革への歩みをこれからも続けていくことが本市の使命であると強く認識しました。

その象徴的な取り組みが、デジタルトランスフォーメーションの推進です。情報通信技術を活用して、あらゆる行政サービスを組織横断的に相互連携させることで、これまでにない行政サービスを提供し新たな価値を創造します。

また、自粛による抑制の中で、知らず知らずのうちに気持ちが内向きになる時だからこそ、文化芸術への支援が重要です。作品との対話を通じて、自分と向き合い、異なる見方に触れ、新しい考えを育むことで、全く新しい眼差しで未来へ目を向けることができるようになります。

教育は今までも一人一人の個に応じた取組みを進めてきましたが、情報通信技術の活用により、個別最適な教育の提供が可能になります。誰もがいつでも学べる教育環境が整ったとき、個々の資質能力をより伸ばす教育の取組みが一層推進されていきます。

令和3年度は、1期目の任期最終年度にあたります。

そこで公約に掲げた「人と健康を守る。」「暮らしと環境を守る。」「夢と未来を守る。」に基づき、工事など完了時期がある政策は任期中の竣工を、課題となっていた政策には道筋を立て、総仕上げに取り組んでいきます。

以上のことを踏まえ、令和3年度予算の重点施策を次のとおり定めます。

## 重点施策

### 1 人と健康を守る

#### ■ 健康づくりの推進

健康に対する意識と行動の変容を促すことで、市民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ります。

#### ■ スポーツ環境の充実

誰もがスポーツに参加し楽しめる機会・環境を整備します。

#### ■ 子育て支援の充実

待機児童対策等を進め、安心して子育てするための支援を充実します。また、児童虐待を未然に防止し、子どもの命を守ります。

#### ■ 高齢者、障がい者等への支援の充実

高齢者や障がい者等が安心して暮らし活躍できる環境と機会を創出し、誰もが包摂される社会を実現する。

#### ■ 貧困や失業等への対策

誰もが豊かに暮らせるまちをつくるため、貧困対策や失業者への支援等を進めます。

#### ■ 国際連携の推進

他者の目を通して内省し、お互いの認識を深め、都市が持つ共通課題の解決に取り組むことで、利便性を高めるとともに、交流を通して市民生活の質を向上させます。

#### ■ 多様性社会の推進

多様性を認め、尊重し合うまちを実現するため、一人ひとりが自分らしくいられるスペースづくりや市民の意識啓発等を進めます。

## 2 暮らしと環境を守る

### ■ 市域強靱化の推進

最悪の事態を想定し、大規模自然災害等から人命と社会システムを守るため、市全域に亘る強靱なまちづくりを進めます。

### ■ 防災・防犯のまちづくりの推進

感染症に配慮した避難所整備や、地域の防災力向上等により、災害に強いまちづくりを進めます。また、防犯対策を強化し、詐欺等の犯罪から市民を守ります。

### ■ 治水対策の推進

水害に強いまちづくりを進め、多発する大雨や集中豪雨による浸水被害を最小化します。

### ■ 都市基盤等の計画的な整備

公共施設やインフラ等の整備を計画的に進め、強靱でかつ景観に配慮された市川らしい市民がプライドを持てる都市基盤の構築を進めます。

### ■ 道路の安全性の向上

誰もが安全かつ快適に利用できる道路を整備し、まちの価値を高めます。

### ■ 循環型社会形成の推進

地球規模での環境問題を自分ごととして捉え、環境に責任を持つまちづくりを進めます。

### ■ 自然環境の継承

市民が自然と触れ合える機会を創出し、豊かな自然環境を次世代に引き継ぎます。

### ■ 行徳地域の特性を生かしたまちづくり

行徳地域の歴史や文化を生かした魅力あるまちづくりを進め、地域の活性化を図ります。

### ■ 地域コミュニティの活性化

地域の人々が連帯感を深めることで、地域の活性化につながるよう、地域コミュニティの維持・拡充を進めます。

### 3 夢と未来を守る

#### ■ 中核市制度への円滑で迅速な移行

事務権限を強化し、人口 50 万都市としての規模と能力を発揮して、地域の自主性・自立性を高めるため中核市制度への移行を進めます。

#### ■ デジタルトランスフォーメーションの推進

情報通信技術を活用して行政運営を効率化するとともに、経営資源を有効活用することで価値創造への転換に取り組みます

#### ■ 市民目線によるサービスの提供

市民からの申請がなければ行政サービスが受けられない従来の方法を転換し、行政サイドから必要な情報を個別にお知らせするなどサービス利用を促進します。

#### ■ 文化創出等の推進

「文化のゆりかご」として新たな文化を創出し、広く発信していきます。

#### ■ 質の高い教育の推進

教育は、人間一人ひとりの尊厳を高め自立を支援するものです。質の高い教育を受けられる環境整備を進めます。

#### ■ 安全・安心な教育環境の整備

子どもの心身の健康を確保し、安心して過ごせる環境を整備していきます。

#### ■ 新しいビジネスの創出

多様な技術や知見を集積し、いちかわ発のイノベーションや新しいビジネスを創出する。

#### ■ 産業の振興

情報通信技術の活用や従来にはない新たな手法等により、リスクに強い産業基盤を構築し事業を継承します。

#### ■ 都市型観光の推進

都市型観光としての魅力を高めるため、本市の観光の将来像を描くとともに、観光資源の充実やプロモーションを推進し、本市のブランド力を高めます。